

光し正月号

No.

城南一休寺

川田 順

戦ひに負けた女等よう来たひと一休せんじ片笑かたえ
ますらし

寺の門に傾く枝のくわりんの果友の書工ゑかきはた
ちまち寫すくわりん
榎櫃えびの果を橙だいだいのやうに描くなかる蛇足の弟子
の禪師が見ます

端縁をまはりて北のながめ寒し刈田のはてに
木津川ながる

應仁の乱れたる世をここにあてつくりたまひ
し納豆の味